



OK たよ

大西勝彦

活動報告

No.85

2021年10月
大府豊幸会
(事務局) 刈谷市宝町8-1
豊田自動織機組合会館est内



大府市議会議員
大西勝彦

令和2年度決算 認定！

市民要望を伝える仕組みの改善！

みなさん、こんにちは。大府市議会議員の大西勝彦です。9月議会が終わりました。この議会は、令和2年度の決算を審議する議会でした。また、今回も一般質問に立ち、市民要望を伝える仕組みの改善を訴えました。その概要を報告します。



令和2年度決算

コロナ禍でも、健全財政を保っている・・・

令和2年度決算は、歳入が570億5,868万円、歳出が549億2,748万円、実質収支は17億4,325万円の黒字でした。

【各種決算指標】

財政力指数(3年平均)	1.13(1.14)	「1」を超えると(国からの)普通交付税不交付団体となる。国に依存していない。
経常収支比率	81.9%	80%を超えると財政構造は弾力性を失いつつある。
公債費比率	1.1%	借金返済額の負担率。通常10%を超えないことが望ましい。
実質収支比率	5.9%	余剰金が財政規模から見て適正であるかどうか。概ね3~5%程度が望ましい。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため「おおぶ元気商品券」発行事業など臨時的な歳出増がありました。これまでの財政運営によって蓄えられた財政調整基金などを活用して、概ね健全な財政が保たれています。しかし、今後も長期的には少子高齢化の進展に伴い、社会保障費等の義務的経費の増加が予想され、引き続き注視していく必要があります。

トピックス

(仮称)大府市民球場を整備します・・・

横根町箕手にある三菱大府グラウンドを、9億982万円で買い取り、市民球場として整備します。予定では、年内に引き渡され、新スポーツ施設整備検討委員会を設置し、改修箇所や整備箇所、使用方法、管理方法などを検討していきます。

【厚生文教委員会での質疑】

(大西)

この発表があった時から、市民の方の反響が大変大きく、野球をやられている方、子どもたちに野球を指導されている方々から歓迎の声をいただいている。市に引き渡されるのはいつか。そして市民が一番知りたいことは、いつから使えるかである。

(鈴木 健康都市スポーツ推進課担当課長)

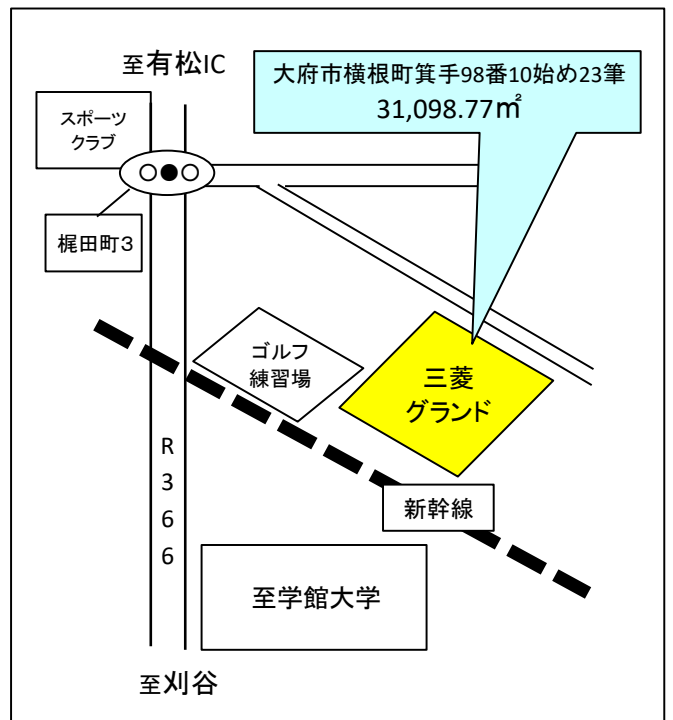
現在、引き渡しの時期を年内で調整を進めており、供用開始時期については、決まっていない。検討委員会でご意見をいただいた後、供用開始と考えている。

(大西)

大体いつごろから使えるのか分からないのか。今年度中は無理だが、来年度には市民の方が利用できるようなるとか、そういう見通しはないのか。

(岡村 市長)

本格的な利用には、防球ネットなどの工事で、また多額の投資が必要になってくると思う。どういう改修が必要かについては、検討委員会の方で、今後検討していただくことになる。検討委員会は、半年ないし1年間ぐらいは時間がかかる。しかし、それまでの間、今の球場でも、野球はできないことはない。私の考えとしては、本格的な改修を検討委員会でご検討しながら、それまでの間、市民の方に一度使ってもらい、利用者の声もいただいて、次の改修につなげていきたいと思っている。



大西勝彦ホームページ
<http://www.medias.ne.jp/~onishi/>



市民要望を伝えるため、ICTを活用して画像送信できる仕組みの構築が必要！

(大西)

近隣自治体では、半田市と東浦町が民間の開発したフィクスマイストリートというアプリを利用して市民からの要望を画像により、24時間365日受け付け、その進捗状況もウェブサイトで公開し、市民・町民と情報共有している。また、刈谷市では、市公式ポータルアプリ「あいかり」の中で、画像送信ができる機能を設け運用している。このような機能を活用すれば、災害時の状況把握にも役立つと考える。市民要望を伝えるためのICTを活用した方法を構築する考えはあるか。

(伊藤 都市整備部長)

ICTを活用した一例としてフィクスマイストリートを挙げられているが、これを活用することにより容易性、迅速性かつ正確性の向上といった一定の効果はあるものと思われる。しかし、本アプリを運用している自治体においても、「事故につながるような重大な損傷など、緊急を要する情報は、電話で直接、市役所に御連絡ください。」とされており、本市の対応と変わるものではない。また、本市で運用している市長へのメールは、機能や利便性の面でも、特に劣るものではないと認識している。

(新美 企画政策部長)

ICTを活用した通報システムの良さは、市民の皆様が、道路や防犯灯などの不具合に気付いたその場で、スマートフォンなどで写真を撮影し、すぐに投稿できる点にあると感じているが、投稿された情報は誰でも見ることができ、個人を特定した投稿などの個人情報保護の観点からは課題があると考えている。既存システムと他のシステムの性能やメリット、デメリットなどを比較検討していきたいと考えている。

(大西)

フィクスマイストリートというアプリの活用については、個人情報保護の観点から難しいとのことだが、私は、絶対このアプリを活用しろと言っていない。市民から直接スマホなどのICT機器を使って、要望が上がるような仕組みを作ってほしいと言っている。フィクスマイストリートというアプリは使わないが、既存の「市長へのメール」などに画像送信機能を持ったシステムを構築するという理解でいいのか。

(太田 企画広報課長)

市長へのメールについては、非公開で要望を受け付けられるシステムであり、写真の画像の添付ができる機能があるので、その機能を活用したいと考えている。

要望される前に、先手で情報発信するべき…

(大西)

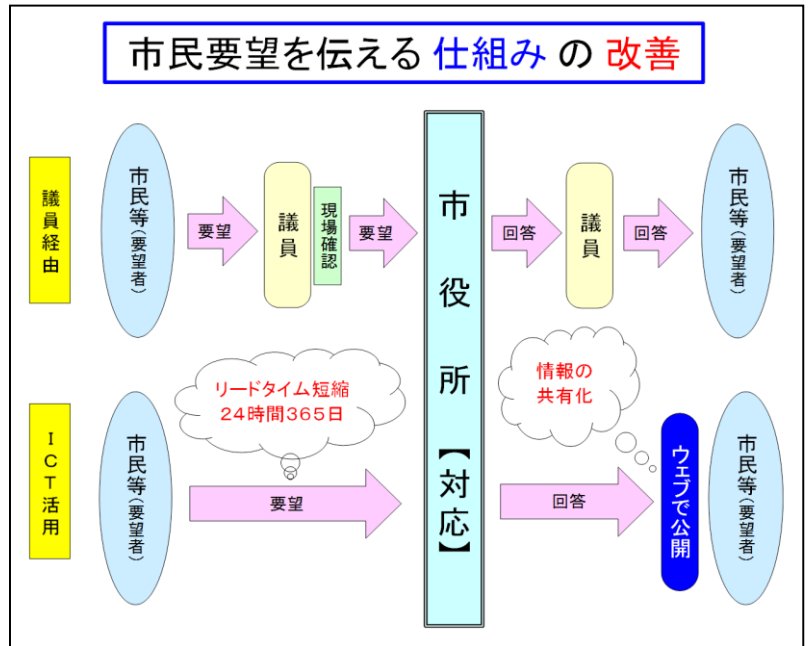
平成30年度大府市議会建設消防委員会の調査研究報告では、市に対して、市民へ積極的に情報提供をすることを提言している。具体的な提言内容は、「大府市の道路計画」を作成し、広報おおぶや大府市公式ウェブサイトに掲載すること、工事現場の看板に、供用開始時期を掲載し、市民に分かりやすくすることである。フィクスマイストリートの運用でも同じことが言えるが、市民に対して情報を提供することによって、聞きたい内容が分かり、要望や問合せをする前に問題が解決する場合がある。要望や問合せを受ける前に先手で情報発信する考えはあるか。

(伊藤 都市整備部長)

愛知県が策定した道路整備の基本方針や事業箇所等を示した「道路の整備に関するプログラム(2018~2027)」の中に、国の補助を受けて事業を進めている市内の県道及び市道の情報が掲載されているので、市民に分かりやすいものとなるよう市公式ウェブサイトにも掲載していく。また、現在の市公式ウェブサイトでは、道路の新設及び改良事業の当該年度の進捗状況を公表しているが、今後は、単年度のみではなく、事業区間ごとの供用開始の予定時期を公表するとともに、工事現場の看板でもお知らせしていく。

(山縣 道路整備課長)

道路計画は、今年度の工事に対応できるよう、マップ形式や一覧表形式など、市民の皆さんにわかりやすい情報を市公式ウェブサイトに掲載していきたいと思っている。



ご迷惑をおかけします

〇〇〇〇の〇〇を
行っています

令和 00年 00月 00日まで
時間帯 0:00 ~ 0:00

供用開始予定は、令和〇年〇月〇日です。
(工事の進捗により、時期の変更もあります。)

〇〇〇〇工事

発注者
施工者

お知らせ

通常この「OKたより」は、地域毎・団体毎に順番を決め、訪問手配りさせていただいておりますが、今般の新型コロナウイルス感染防止対応に鑑み、今回も全て郵送とさせていただきます。よろしくお願いいたします。